

## 第 61 回理事会議事録

1. 日 時：2020 年 3 月 26 日（木）および 3 月 27 日（金）
2. 議決方法：新型コロナウイルス拡散防止のため通常の会議開催は行わず、電磁的記録にて議事に対する意思表示を行った
3. 議事参加者：【理事 12 名】 細田博之、鳩山勝郎、浅越ことみ、伊藤直彦、久保公人、ロバート・ゲラー、齋藤陽子、寺本直志、橋本公二、古川京司、山田和彦、吉田正  
【監事 2 名】 成田秀則、正村祐一  
【事務局 4 名】 高野英樹事務局長、大政哲人国際交流事業部長、仲村篤志競技会事業部長、清水映樹参与
4. 議事の経過及び結果  
議題を逐一審議し、理事 12 名全員の合意の意思表示が示されたもののみを決議された事項とした。

第 1 号議案 第 60 回理事会議事録の承認について  
議事録案を承認した。

第 2 号議案 2020 年度予算案について  
1 月理事会では 5,950,000 円の赤字予選が提出されたが、その後 2021 年 2 月開催予定の横浜ブリッジフェスティバルの海外招待費用の見直し、人事委員会の結果を反映した管理費の削減が行われた。また、新型コロナウイルスによる収入の減少については、現時点では減少分の算出が困難であるとした。その結果、経常収益 226,760,000 円、経常費用 230,920,000 円、総額 4,160,000 円の赤字となる 2020 年度予算案が提出された。全理事による検討、確認の結果、これを承認した。  
2020 年度事業計画書が提出され、検討の結果これを承認した。

第 3 号議案 各委員会及び事業部報告

### 1. 企画委員会

吉田企画委員長より 3 月 11 日開催の企画委員会について報告があった。  
WBF TDs seminar については、WBF から求められている参加人数等の条件はクリアできる見通しがついたとし開催の方向で進めることとした。

### 2. センター協議委員会

山田センター協議委員長より 2 月 12 日開催のセンター協議検討会および 3 月 10 日開催のセンター協議委員会について報告があった。

### 3. 競技委員会

寺本競技委員長より2月5日開催の第264回競技委員会および3月4～25日開催の第265回競技委員会について報告があった。

寺本競技委員長よりMP1000未満、MP300未満、およびMP100未満の係数を新たに定めたマスターポイント規則の改定案が提出されこれを承認した。

寺本競技委員長よりIMPの最低ボード数を20ボードとする対象を合計シードポイント100点未満、50点未満、および合計マスターポイント100点未満に拡大する競技会運営規則の改定案が提出されこれを承認した

寺本競技委員長より2019年度冬季IMPリーグへの新型コロナウイルスの影響に対して特例処置を行った旨報告があった。

### 4. 普及事業部

齋藤普及事業担当理事より優待券進呈キャンペーンおよび初心者大会ご招待キャンペーンについて報告があった。

齋藤普及事業担当理事より新型コロナウイルスの影響によるユースの国際大会の中止の状況について報告があった。

### 5. 競技会事業部

ゲラー競技会事業担当理事より競技会事業部活動状況および資格獲得者の報告があった。

ゲラー競技会事業担当理事より3月21日、22日に開催を予定していた渡辺杯については中止とした旨報告があった。4月4日、5日に開催を予定していた玉川・高島屋杯については中止とし、7月18日、19日に全日本ウィメンズチーム選手権を開催する旨報告があった。

### 6. 法人・管理部

寺本法人・管理担当理事より12月末時点の予算決算対照表、比較財務諸表、月次収支実績およびクラブ勘定の残高について報告があった。

鳩山会長代行より新型コロナウイルスの影響による各センター・クラブの経営状況の悪化に対して、昨年3月と今年の3月の公認料の差額に応じた支援を全国14センターに行う旨提案がなされた。検討の結果、結論には至らなかった。

## 第4号議案 その他の議案

### 1. 次回理事会開催について

次回理事会は2020年4月24日（金）午後6時30分に開催する。

当日配布資料：第 2 号議案「2020 年度予算案統括表」

第 3 号議案「マスターポイント規則」「競技会運営規則」「第 265 回競技委員会議事録」

「センター支援策について」

2020 年 3 月 27 日

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第 61 回理事会

代表理事 細田 博之

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 成田 秀則

監 事 正村 祐一